

事務事業名	公営住宅等ストック改善事業(澄水団地)	所属部	建設部	所属課	都市建築課	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり<<定住環境>>	所属G	建築・営繕G	課長名	嘉本 俊一
	施策名	(04)計画的な土地利用と市街地整備	担当者名	吉川 卓男	電話番号	0854-40-1064
	目的・対象	市内全域	意図	地域特性を活かした有効かつ効果的な土地利用を進める。	(内線)	3750
	基本事業名	(011)住環境開発地域の整備	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 4 0 0 5 項 目 中事業 中事業名 2 5 1 5 0 1	地域住宅交付金事業 公営住宅整備事業	
目的・対象	住環境開発地域	意図	住環境開発地域を整備する。			

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (20年度～26年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	雲南市公営住宅ストック総合活用計画に基づき、公営住宅である澄水団地の居住水準を向上させる。 ・改善戸数棟数— 4棟48戸(1棟あたり12戸) ・事業期間はH20～H26年度 ・改善内容① 戸別改善(浴槽改修・3点給湯・洗面台取替え等)② 共用階段手摺設置③ 外壁落下防止改修(1号棟のみ)④ 屋上防水改修(1号棟のみ)

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動) 1号棟屋上・外壁改修 1～4号棟共用階段手摺設置	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 戸別改善(20戸)			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
ア	戸別改善	戸	7	9	0	20
イ	1号棟外壁・屋上改修	棟	0	0	1	0
ウ	共用階段手摺設置工事	棟	0	0	4	0
エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	澄水団地	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
			ア	未改修戸数	戸	35	26	26	6
			イ						
			ウ						
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	・居住水準向上 ・住宅の長寿命化	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
			ア	進捗率(改善済住戸/住宅戸数)	%	27.1	45.8	45.8	87.5
			イ						
			ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)	
各住戸の内部改善工事 27,403(千円) 事務費 60(千円)	財源内訳	国庫支出金	千円	4,134	4,634	11,158	17,181
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	5,509	7,583	16,305	25,919
		事業費計(A)	千円	9,643	12,217	27,463	43,100
		人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2
	延べ業務時間	時間	300	300	300	300	
	人件費計(B)	千円	1,166	1,183	1,175	1,175	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	10,809	13,400	28,638	44,275	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
H20年度に行った戸別調査時に居者より、階段室の手摺を早くつけてほしい旨と、1号棟の老朽化を心配する声があった。24年度工事で屋上・外壁改修及び階段室の手摺設置したことから、居住環境の改善が計られた。	特になし。	個別改修はできるだけ早期に行なってほしいとの入居者の要望がある。また、当初予定していない部分での修繕を希望されるケースが多々ある。(外灯設置・室内の外壁修繕等)

事務事業名	公営住宅等ストック改善事業(澄水団地)	所属部	建設部	所属課	都市建築課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	公営住宅長寿命化計画の定めに従い、計画全体のバランスに配慮しながら年次的に事業実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	公営住宅長寿命化計画で定めた計画を実現できなくなる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		団地ごとに、整備内容が違うため、統合の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		単年度でまとめて施工できれば全体事業費としては削減できる。
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		必要最低限の人員で業務を行っている。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		当該団地の入居者の要望により計画したものではなく、市全体の公営住宅の状況を鑑みて計画を定められたものである。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		入居したままの改修工事を計画していることから、今後も工事内容や方法及び工事順序等について入居者の理解を求める必要がある。年度毎に予算の範囲の戸数しか改修を行っていないため非効率である。
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下		×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下		×																
<ul style="list-style-type: none"> ・現在、老朽化の激しい部屋について、優先的に改修をすることが必要である。 ・改修工事にあたり、棟毎・団地毎に計画的に整備する必要がある。 	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		